

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名		簡易水道整備事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	水道局	課長名	辻 健一
	施策	9 住環境の充実				所属課	上下水道課	担当者名	村上 優太
	施策の柱	24 水の安定供給				所属班	管理工務班	(内線)	1153
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	簡易水道の配水管・配水施設等の整備を行う事業である。当該事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として平成9年度から事業を実施している。平成29年度からは上水道事業へ統合し、更なる安定供給を図ることとしている。 平成29年度に上水道事業へ統合予定。
【業務の流れ】	簡易水道の配水管・配水施設等整備の設計事務、業者選定、契約事務、現場監督、竣工検査。簡易水道の配水管の修繕に伴う修繕依頼、監督、修繕費積算、請求
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費) 工事請負費、委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
竹迫地区簡易水道事業日向第2配水池電気設備更新工事および上日向線配水管布設工事		竹迫第3水源池電気設備整備事業	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 簡易水道の配水施設数	箇所		
→ イ 簡易水道の配水管布設工事延長	m		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
簡易水道使用者		→ ア 簡易水道使用者数	人
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
安全で良質な水道水を安定的に使用できる		→ ア 簡易水道使用者のうち安全で良質な水道水を安定的に使用できた使用者の割合	%
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移										
		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	箇所	5	5	4	4	4			
	イ	m	2,309	1,351	1,050	1,370.6	100			
② 対象指標	ア	人	4,867	4,827	4,400	4,824	4,000			
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100			
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円	41,469	30,000	35,500	25,702	7,609		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	111,000	103,500	95,220	94,800	27,200		
		その他	千円	56,336	8,115	40,815	2,228	4,617		
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	208,805	141,615	171,535	122,730	39,426			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	8	4	4		
		延べ業務時間	時間	690	690	1,000	700	700		
	(B) 人件費計		千円	2,748	2,748	3,984	2,599	2,788		
	トータルコスト(A)+(B)		千円	211,553	144,363	175,519	125,329	42,214		

事務事業名	簡易水道整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 工事の発注見通しが出来ており、工事の期間も余裕を持って完了できた。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 配水池施設および管布設替えを進め、すべての簡易水道使用者に安定的な水道水を供給することとしているため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成29年度に上水道事業へ統合予定。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は工事請負費、委託料であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行いコスト削減を図っている。品質の高い設備建設のため事業費の削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 他事業（下水道整備）との兼務で事業に当たっており、これ以上削減する余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 すべての簡易水道使用者に受益機会があり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 インフラ施設の整備であり、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度まで間に上水道事業へ統合する準備を進めており、計画的な布設替え等予定した工事等を完了し目標を達成することができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案） (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策